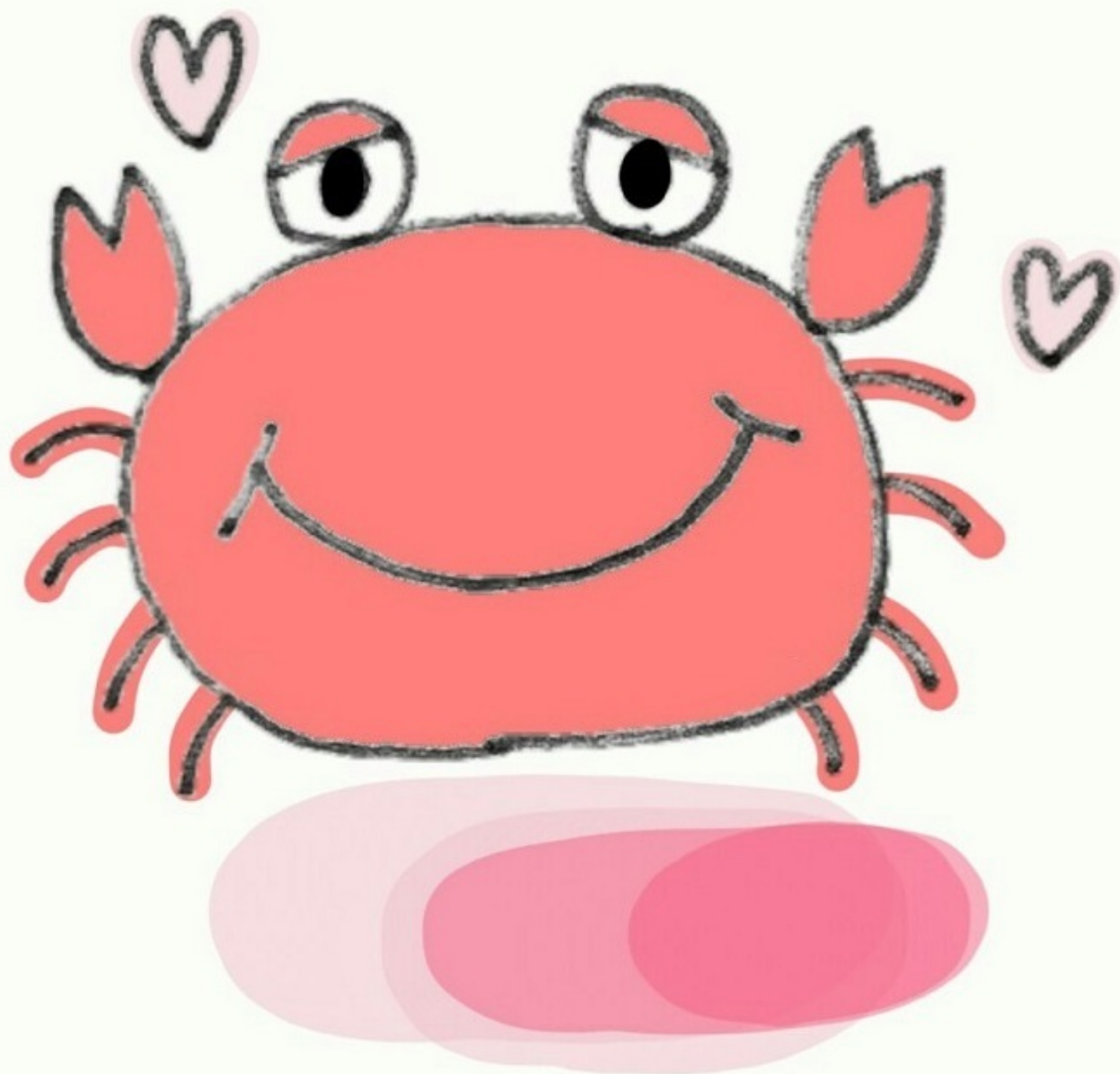


# 力二 (笑)

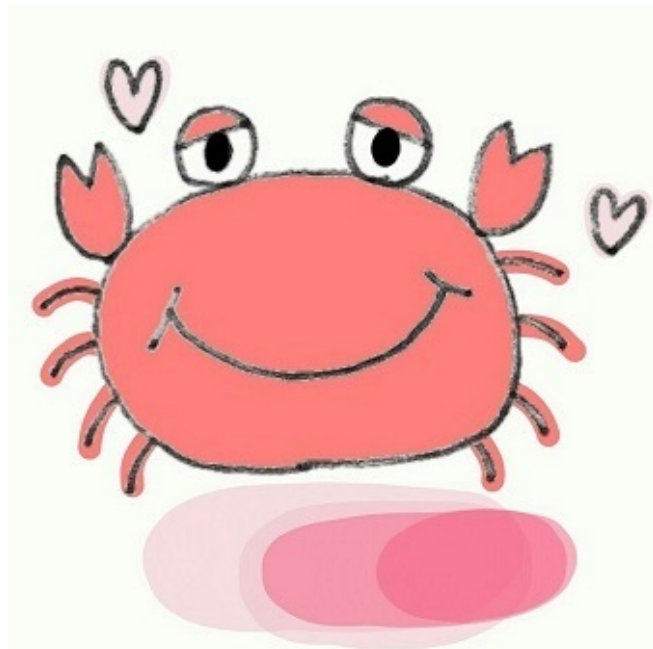


文 ・ きよみ  
絵 ・ Reika

カニは英語でも、ドイツ語でも癌のことです。

乳癌歴10年を超えて、詩でもなく、川柳でもなく、戯言で日常を書いてみました。

ニカニカ（笑）してくださいね。



まだ有るよ。これ見よがしに髪伸ばし、  
肩甲骨（健康骨）まで届かん。



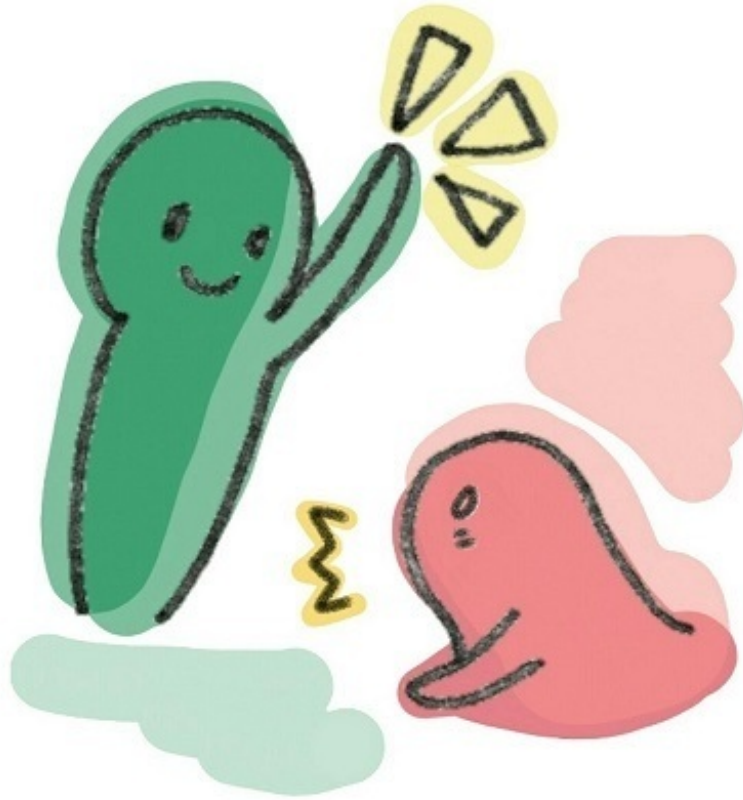
<副作用での脱毛は、女心が傷つきます>

女性ホルモン無くしたら  
脛毛濃く 野太い声になるのかしら？



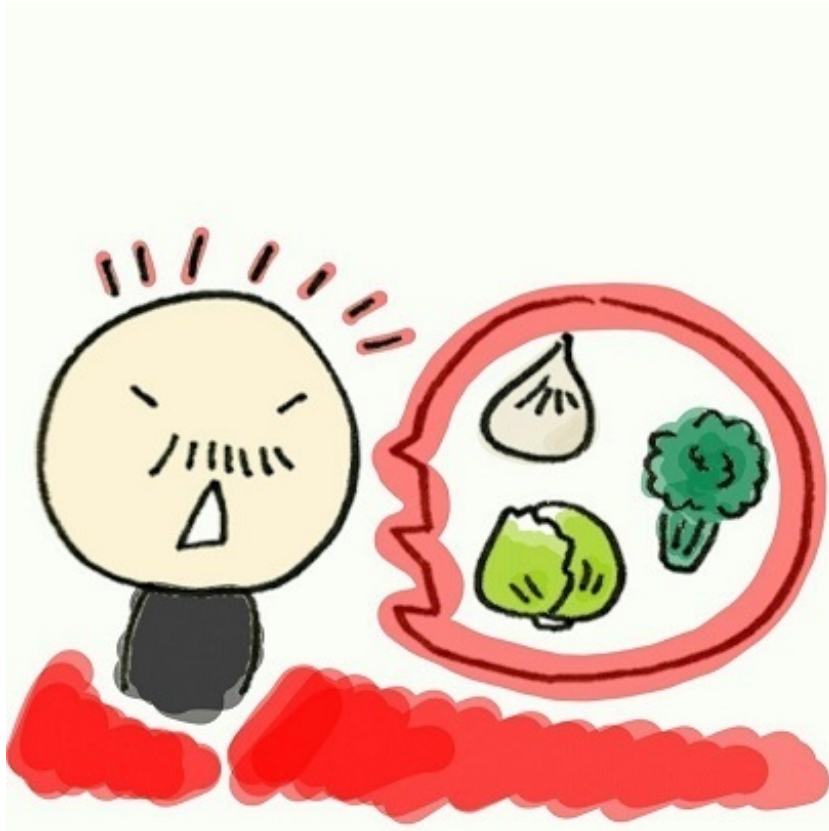
<抗エストロゲン剤は女性ホルモンを抑制します。でもこんな副作用はできませんよ>

「腕腫れないの 羨ましい」と母が言い  
同病二代目、手を挙げて見せ



<昭和40年代手術を受けた母は、ひどいリンパ浮腫に悩んでいました>

今日も食べたかと夫聞く  
にんにく、キャベツ、ブロッコリー



<乳癌予防に良いと言われている食品です>

「太ったね」「元気そう」  
イエイエ本当はむくんだ顔



<腎臓からくるむくみです>

片目開かず。 これチャンスかとウインクの練習



<腎臓からのむくみで、まぶたが重いのです>



シワ浅い目尻、目の下美容液 少なめにすます節約顔



<顔のむくみは皺も減らします。長年かかる医療費はこんなところで節約します>

爪が白くなりにつれ、あざやかに色つきにけり



<ゼロータという薬を飲んでいた時は、爪が白色になり、ネイルが映えます>

苦味、口に残<sup>し</sup>滓し コーヒー党から紅茶に鞍替え



<コーヒーが飲めるかどうか？は体調のバロメーター>

制作時 同じ形の盛り上がり

今や作り物が美形の胸なり



<原発手術より10年。現物は歳とともに垂れていき、パットは当時を留める>

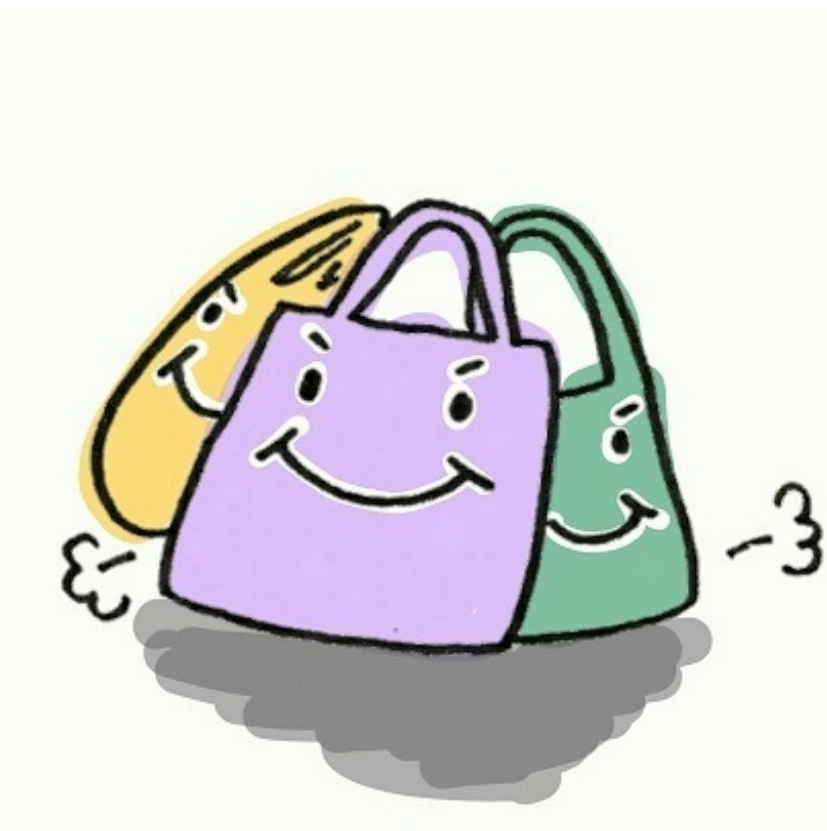
指触れるつぶつぶは

「リンパでないから大丈夫」と医師が言い  
虫刺され後と同等の皮下のがん



<あまりにサラリと、先生に流されてしまいました。蚊に刺された後のようです>

捨て置きたいと足を止め バーゲン帰りの重い袋



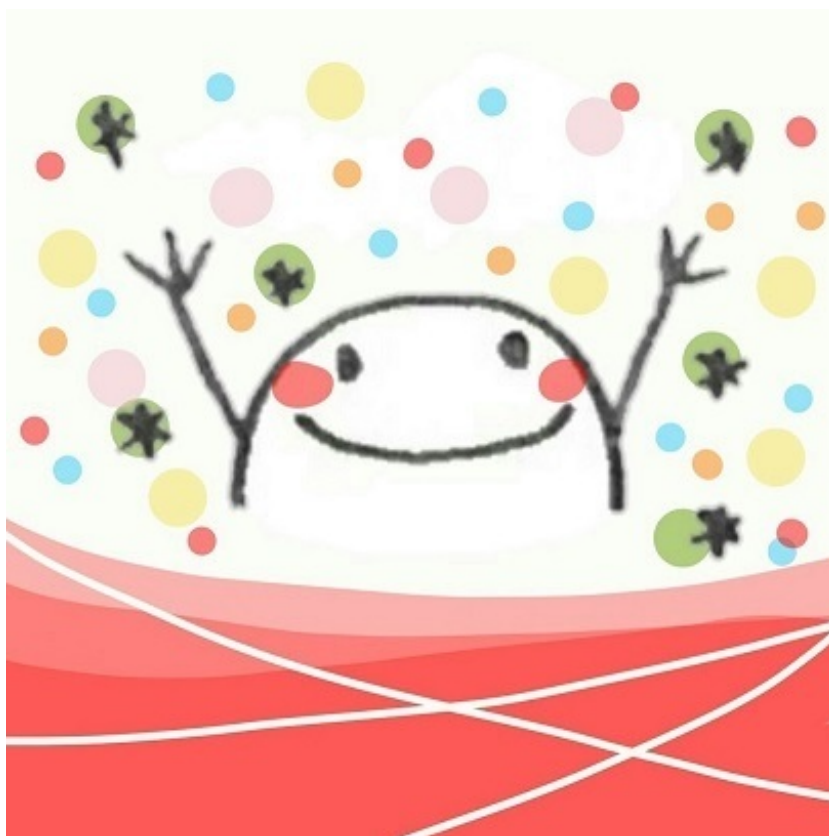
<手術した方の腕をいつも庇っています。>

痛み箇所 言わずと判る夫の手 背中へ湿布  
「出て行け！ がん」



<湿布を貼りながら夫が言うセリフです>

「気を強くもっていれば 細胞が活性化するんだ」  
は我が家のおまじない

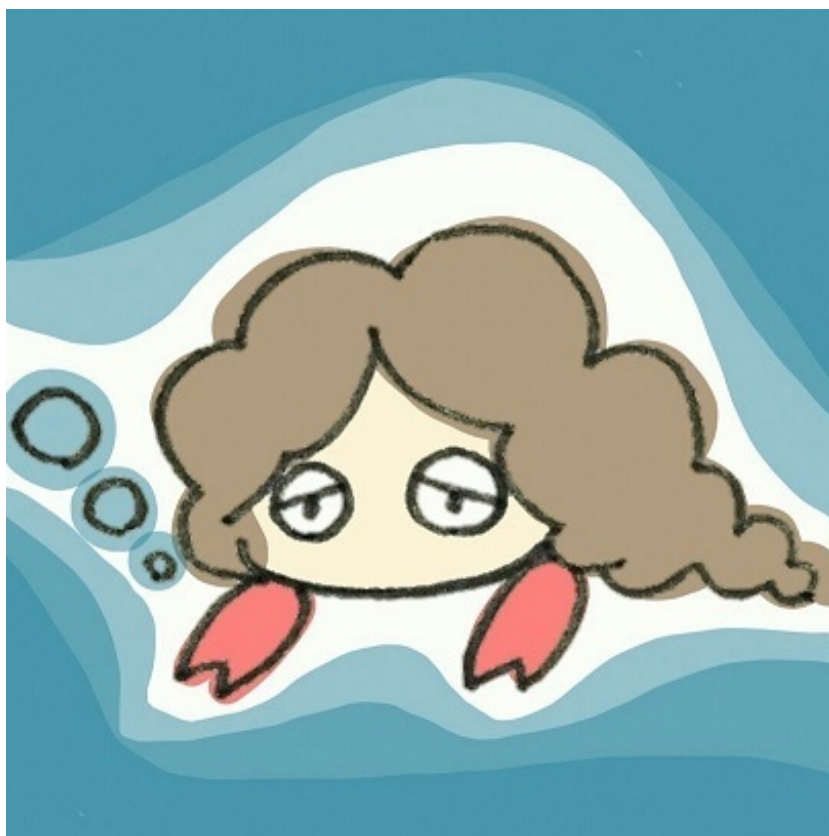


<これも湿布を貼るときの決まり文句です>



湿布薬 貼りそびれて浅い眠り

カニ（笑）ねり朝迎える



<湿布薬=痛み止めは睡眠薬にもなります>

意のままに動かせたらきつと特技さ  
足の親指90度にそりかえり



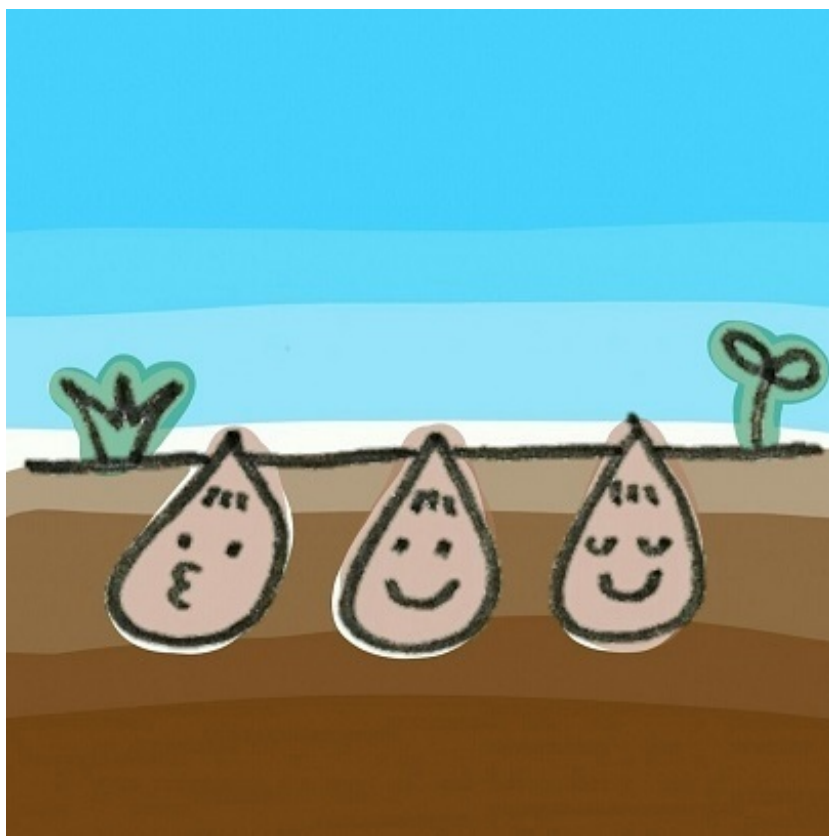
<足の指がつると、手でひっぱる以上にそりかえります。痛くもあり、奇形でもあり>

花の種 もらってうれしや世話をする。  
増やさず今年も一鉢だけ。  
来年は誰が咲かせてくれようか。



<世話が行き届かなくなった花鉢の枯槁憔悴は見たくないものです>

庭に花 球根ばかりを植えにけり  
紫ラン、フリーズア特待生



<自然の恵みだけで毎年花をつけてくれる古参。これからも年月を重ねそうです>

耳の奥刻むリズムはグワングワン  
キレはなくても生きてる証



<心臓の鼓動が耳奥で聞こえます。キレある音だったら爆発しそうで怖い！>

「オオカミさんに食べられたの？」と孫娘、  
タオルで隠した祖母の心うち



<手術後を見て言った孫娘＝私の娘の問いに、祖母＝私の母は答えられなかったらしい。  
。

「美味しそうなオッパイだもんね」は、心うち知らずの私の答えでした>

## カニ（笑）

<http://p.booklog.jp/book/105150>

文・きよみ

絵・ReiKa

発行者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/reika-223163/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/105150>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/105150>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ